



こちらは、英文記事「[Guidelines on the carriage of charcoal in containers](#)」（2017年10月12日付）の和訳です。

CINS（貨物事故通知システム）と国際P&Iグループとが、木炭とカーボンのコンテナ輸送に関するガイドラインを発表しました。

貨物の中には、自己発熱性を持つものがあります。そうした貨物は、自然発火や火災を招き、人や物、環境に危険を及ぼすおそれがあります。木炭やその他の形態のカーボンも、こうした自己発熱性貨物に該当し、安全な輸送のためには事前に一定の準備が必要となります。

また、コンテナ輸送においては、輸送業者が安全にコンテナの積み付けと輸送を行えるよう、荷主が貨物を適切に申告していることが重要となります。過去に発生したコンテナ火災事故の多くでは、一部の貨物について、国際海上危険物規程（IMDGコード）に即した適切な準備や荷主の申告が行われていなかったことが判明しています。この点については、[ウォルビスベイ（ナミビア）で船積みした木炭の火災リスク](#)、[中国の不正申告された木炭製品（英文）](#)、[木炭のコンテナ輸送（英文）](#)について取り上げたGard Alertを参照してください。

特にコンテナ船では消火活動に困難を要することから、出荷前、そして出荷の時点でリスクに対処することが一層重要となります。

こうした事情を踏まえ、今般、[CINS（Cargo Incident Notification System（貨物事故通知システム））](#)と[国際P&Iグループ](#)は共同で、木炭とカーボンのコンテナ輸送に関する[詳細なガイドライン（英文）](#)を発表しました。

世界の木炭・カーボンの年間生産量が約 5000 万トンに上ることを背景に、今回のガイドラインは、これらの製品について輸送中の安全性を高めること、そして、適切な申告、包装、輸送を徹底することを目指した内容となっています。

木炭とカーボンを輸送する際は IMDG コードの要求事項に準拠しなければなりません。今回のガイドラインには、IMDG コードから抜粋した規定の他、輸送の安全性向上のための補足的な注意事項も収録しています。

Gard は、他の国際 P&I グループ加盟クラブとともに、CINS のアドバイザーメンバーであり、Gard のメンバーの皆様も多くも、CINS のメンバーに名を連ねています。国際 P&I グループでは、まだ未加入のコンテナ船運航会社の皆様にも、CINS への加入を推奨しています。CINS は、定期船業界の安全性の向上を図るために、特定の貨物がもたらすリスクや不適切な梱包などの課題に取り組んでいます。



Mark Russell
Vice President, Head of Cargo Claims

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。